

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 尚吾

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	87,118	17.5	3,404	△20.9	3,406	△16.2	1,939	△28.8
2026年3月期第1四半期	74,152	△5.3	4,302	39.2	4,066	5.3	2,724	3.5

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,144百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △369百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	44.61	—
2026年3月期第1四半期	62.69	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	368,722	219,281	57.3
2026年3月期	373,127	218,808	56.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 211,328百万円 2026年3月期 211,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	30.00	—	40.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	179,000	15.7	6,500	△29.4	6,000	△29.3	3,300	△39.3	75.93
通期	362,000	14.9	15,500	△8.6	14,000	△13.6	8,400	△14.8	193.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	44,898,730株	2026年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,439,844株	2026年3月期	1,439,844株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	43,458,886株	2026年3月期1Q	43,458,975株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策や中東情勢をはじめとする地政学的リスクの影響などにより先行き不透明な状況が続きました。日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、金融資本市場の動向等には引き続き注意が必要な状況となっています。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、連結売上高は前年同期対比12,966百万円（17.5%）増収の87,118百万円、連結営業利益は同898百万円（20.9%）減益の3,404百万円、連結経常利益は同661百万円（16.2%）減益の3,406百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同785百万円（28.8%）減益の1,939百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、建設・物流現場での人手不足を主因とした建設工事の遅延・長期化等の影響などから鋼材需要は弱基調で推移し、当社の製品出荷量は前年同期対比0.9万トン（2.7%）減の33.7万トンとなりました。一方、原材料である鉄スクラップの価格は、円安や中東情勢を背景とした国内市況の変動等により、同11.2千円（26.0%）上昇しました。当社では積極的に値上げを打ち出し、製品価格の引き上げを進めましたが、契約から出荷までに一定の期間を要することから、当第1四半期の製品価格は同1.6千円（1.6%）下落し、売買価格差（製品出荷価格と原材料価格の差異）は同12.8千円（23.4%）縮小しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比1,418百万円（4.3%）減収の31,268百万円、営業利益は同3,680百万円（92.7%）減益の288百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門については、ベトナムおよび北米（米国・カナダ）にて鉄鋼事業を展開しており、いずれも決算期は12月です。

ベトナムにおいては、経済成長を目指す政府方針のもと、旺盛な鉄鋼需要が継続しています。例年不需要期である旧正月の期間も底堅い需要が続き、各拠点の製品出荷量は前年同期を大幅に上回りました。競合環境は依然として厳しいものの、旺盛な需要を背景とした製品価格の引き上げ、増産に伴うコスト低減等により、各拠点とも前年同期対比大幅増益となりました。

北米においては、堅調な需要が継続する中、米国拠点では老朽化設備ゆえの操業不調による出荷量の減少はあったものの、市況が堅調であったことから、前年同期より赤字幅は縮小しました。カナダ拠点では、定期修繕によるコスト影響はありながらも生産・販売とも堅調であり、北米全体では前年同期とほぼ同水準の業績となりました。

以上の結果、売上高は前年同期対比14,099百万円（36.3%）増収の52,924百万円、営業利益は同2,578百万円（435.5%）増益の3,171百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、医療廃棄物処理については厳しい状況が続きましたが、利益率の高い難処理廃棄物やフロン類の処理案件獲得に注力したことにより業績は大幅に改善し、売上高は前年同期対比323百万円（24.0%）増収の1,666百万円、営業利益は同282百万円（953.2%）増益の311百万円となりました。

④ その他の事業

当事業部門については、ベトナムでの港湾事業や、国内およびベトナムでの鋳物事業などを行っています。売上高は前年同期対比37百万円（2.9%）減収の1,259百万円となり、営業利益は同38百万円（21.5%）減益の140百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7,092百万円（3.2%）減少し、213,966百万円となりました。これは、売掛金が3,356百万円、原材料及び貯蔵品が2,072百万円、電子記録債権が1,463百万円増加し、現金及び預金が14,253百万円、その他流動資産が1,990百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,686百万円（1.8%）増加し、154,756百万円となりました。これは、その他有形固定資産が2,851百万円、機械装置及び運搬具が912百万円増加した一方、建物及び構築物が670百万円、投資有価証券が466百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4,406百万円（1.2%）減少し、368,722百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4,710百万円（4.6%）減少し、97,967百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が5,111百万円、短期借入金が1,333百万円、電子記録債務が1,157百万円増加し、1年内償還予定の社債が10,000百万円、その他流動負債が1,130百万円、未払法人税等が867百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて168百万円（0.3%）減少し、51,474百万円となりました。これは、繰延税金負債が109百万円増加し、長期借入金が238百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,878百万円（3.2%）減少し、149,441百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて473百万円（0.2%）増加し、219,281百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,939百万円計上し、非支配株主持分が806百万円、為替換算調整勘定が604百万円増加した一方で、利益剰余金の配当により2,608百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.7%から、57.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内鉄鋼事業については、第2四半期連結会計期間においても建設用鋼材需要は低調な推移が予想されますが、中間期の製品出荷量は概ね想定通りとなる見通しです。しかし売買価格差は想定を下回る見通しであること、中東情勢の影響によるエネルギー費などのコスト増が見込まれること等から、国内鉄鋼事業の業績は当初計画を下回る見通しです。

一方、海外鉄鋼事業については、ベトナム、北米ともに事業環境は良好であり、概ね計画通りの業績進捗を見込んでいます。

以上を勘案し、国内鉄鋼事業の業績の低下を海外鉄鋼事業の業績で補うには至らない見込みであることから、2026年4月30日の「2026年3月期 決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間と通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	177,000	7,000	6,000	3,900	89.74
今回修正予想（B）	179,000	6,500	6,000	3,300	75.93
増減額（B-A）	2,000	△500	—	△600	
増減率（%）	1.1	△7.1	—	△15.4	
（ご参考） 前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	154,683	9,208	8,482	5,433	125.01

2. 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 360,000	百万円 16,000	百万円 14,000	百万円 9,000	円 銭 207.09
今回修正予想（B）	362,000	15,500	14,000	8,400	193.29
増減額（B-A）	2,000	△500	－	△600	
増減率（％）	0.6	△3.1	－	△6.7	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	315,106	16,967	16,211	9,864	226.98

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,947	48,694
受取手形	6	4
売掛金	49,833	53,189
電子記録債権	16,228	17,691
有価証券	6,000	7,000
商品及び製品	36,448	37,727
原材料及び貯蔵品	33,931	36,003
その他	16,241	14,252
貸倒引当金	△576	△593
流動資産合計	221,057	213,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,785	24,114
機械装置及び運搬具（純額）	46,237	47,149
土地	33,005	33,041
その他（純額）	13,399	16,250
有形固定資産合計	117,426	120,555
無形固定資産		
のれん	613	586
その他	2,225	2,144
無形固定資産合計	2,838	2,730
投資その他の資産		
投資有価証券	17,644	17,178
長期貸付金	1,311	1,394
退職給付に係る資産	8,613	8,797
繰延税金資産	2,392	2,218
その他	2,213	2,253
貸倒引当金	△368	△369
投資その他の資産合計	31,806	31,470
固定資産合計	152,070	154,756
資産合計	373,127	368,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,877	28,989
電子記録債務	6,857	8,013
短期借入金	40,955	42,288
1年内返済予定の長期借入金	5,003	4,958
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	1,172	305
賞与引当金	1,217	948
その他	13,597	12,466
流動負債合計	102,677	97,967
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,670	28,432
繰延税金負債	4,754	4,863
再評価に係る繰延税金負債	2,463	2,465
退職給付に係る負債	4,286	4,314
その他	1,468	1,401
固定負債合計	51,642	51,474
負債合計	154,319	149,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	19,595	19,595
利益剰余金	147,968	147,295
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	184,378	183,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,335	3,067
繰延ヘッジ損益	31	65
土地再評価差額金	4,526	4,529
為替換算調整勘定	13,825	14,429
退職給付に係る調整累計額	5,566	5,533
その他の包括利益累計額合計	27,283	27,623
非支配株主持分	7,147	7,953
純資産合計	218,808	219,281
負債純資産合計	373,127	368,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	74,152	87,118
売上原価	64,057	77,796
売上総利益	10,095	9,322
販売費及び一般管理費	5,793	5,918
営業利益	4,302	3,404
営業外収益		
受取利息	243	214
受取配当金	177	156
持分法による投資利益	199	—
為替差益	—	204
その他	209	129
営業外収益合計	827	704
営業外費用		
支払利息	619	650
持分法による投資損失	—	23
為替差損	413	—
その他	31	28
営業外費用合計	1,063	702
経常利益	4,066	3,406
特別利益		
固定資産除売却益	57	8
受取保険金	14	—
特別利益合計	71	8
特別損失		
固定資産除売却損	13	22
その他	0	2
特別損失合計	13	25
税金等調整前四半期純利益	4,124	3,389
法人税等	1,415	738
四半期純利益	2,709	2,650
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	711
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,724	1,939

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	2,709	2,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△304	△268
繰延ヘッジ損益	△19	34
為替換算調整勘定	△2,579	761
退職給付に係る調整額	△176	△33
その他の包括利益合計	△3,078	494
四半期包括利益	△369	3,144
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	10	2,276
非支配株主に係る四半期包括利益	△379	868

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	32,687	38,825	1,343	72,855	1,297	—	74,152
外部顧客への売上高	32,687	38,825	1,343	72,855	1,297	—	74,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	18	144	166	243	△409	—
計	32,691	38,843	1,487	73,021	1,540	△409	74,152
セグメント利益	3,968	592	30	4,589	178	△466	4,302

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益」の調整額△466百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△469百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	31,268	52,924	1,666	85,859	1,259	—	87,118
外部顧客への売上高	31,268	52,924	1,666	85,859	1,259	—	87,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	4	122	133	217	△350	—
計	31,275	52,928	1,788	85,992	1,476	△350	87,118
セグメント利益	288	3,171	311	3,769	140	△505	3,404

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益」の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,050百万円	2,144百万円
のれんの償却額	28百万円	30百万円